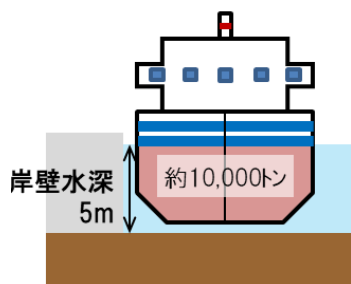


物流と防災の拠点となる港づくり ～東予港の耐震強化岸壁などの整備～

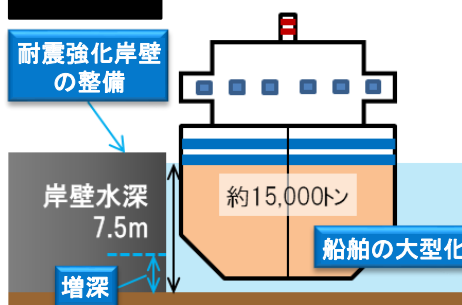
愛媛県



Before



After



積載台数 3割増加 (120台→160台)

- フェリーの大型化に対応しより**効率的な物流体系**の構築が可能に！
- 震災後すぐに海上輸送**が可能に！
- 海上輸送を活用した輸送ルートの多様性を確保！



○愛媛県は、愛媛県旅客船協会と『**災害時の船舶による輸送等に関する協定**』を締結し、被災者及び救援物資、災害応急対策要員・資機材等の輸送業務にフェリーを活用します。

四国ルートの利用による車両運転距離の変化

	運転距離
大分-関西	約7割短縮 (750km→200km)
宮崎-関西	約6割短縮 (890km→330km)
鹿児島-関西	約4割短縮 (880km→520km)

※各県庁所在地より吹田ICまで。本州ルートとの比較。

【四国ルート利用のメリット】

- 本州ルートと比較し、トラックによる**運転距離が大幅に縮減**される。
- フェリー利用により、トラックドライバーの労務管理上のメリットが生じる。
- トラック輸送のみの場合より、**定時性の確保**がしやすくなる。